



# 土砂災害ってなに？

大雨は引き寄せたことで、大量の土砂が崩れたり動いたり、水と一緒に流れたりすることで起こる災害のことです。地震の揺れが原因となることが多い土砂災害もあります。また、大抵は地震のおとほ、地震が原因で起こっているため、少しの雨や急激な土砂災害は発生しやすくなります。



## がけ崩れ (斜面崩壊) 急な斜面が崩れる

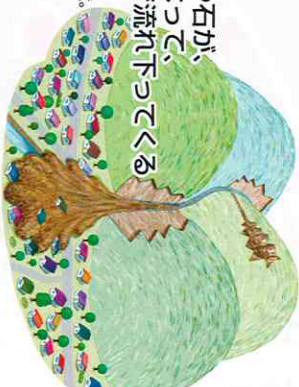
- 傾斜が30度以上ある斜面が危ない。
- 大雨の雨が地中にしみ込むと起きやすい。
- 大雨の時に一瞬のうちで起こることが多いため、逃げ遅れて命からならぬおそれもある。
- 雨が止んだ後に起こることもある。雨が止んでも数時間は注意。
- ぐずれた箇所の2倍くらゐのところで土砂がおそってくることもある。



## 土石流

山から崩れた土や石が、水といっしょになって、ものすごい勢いで流れ下ってくる。

- 大雨が發生の引き金になる。梅雨や台風の時期は特に注意。
- 速いときは時速40キロ以上。大きな岩も流してしまふ。
- 雪どけ水で發生することも。



## 地すべり

やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く。

- 雨水や雪どけ水が地中にしみ込んで起こる。
- 家や畑畑といっしょに大地がゆっくりに動くこともあり、突然一気に何十メートルも動くこともある。
- 地震が原因で起こる地すべりもある。



## 河道閉塞 (天然ダム)

崩れた土砂が川をせきとめる



- 地すべりやがけ崩れの土砂、土石流で流れてきた土砂が、ダムのように川をせき止める。
- 天然ダムの上流側は湖のようにかたままり、家や畑畑が水につかる。
- 天然ダムはやがて、たまった水のかたまりで一気に崩れ、下流に土石流が押し寄せる。



## がけ崩れの前ぶれ

- ① がけから小石がバタバタ落ちてくる。
  - ② 樹木がゆれたり、かたむいたりする。
  - ③ 斜面にひび割れがでる。
  - ④ 斜面にひび割れがでる。
- 立退き避難が必要な時は、がけから崩れた部屋や2階などに避難しよう。

## こんな変化に注意 土砂災害の前ぶれ (前兆現象)

身のまわりでこんな現象が起これたら、すぐに近所の人や役場に知らせ、安全な場所に避難しましょう。特に大雨が降っているとき、降ったあとには要注意です。

## 土石流の前ぶれ

- ① 川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、火花が昇ったりする。  
→上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり合いはがら落ちてくるため。
- ② 川や沢の流りがにどり、生木が流れてくる。  
→上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。
- ③ 山鳴りがする。異常なおいかする、地鳴りがする。  
→土流りしているのだから。
- ④ 雨がふり続けているのに川や沢の水が減る。  
→上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められているため。土石流の危険がせまっている。

## 地すべりの前ぶれ

- ① 池の水がにごったり、濁ったりする。
- ② 山の樹木がサワサワとさわわく。木の裂ける音や木の根が切れる音がする。
- ③ 地鳴りや山鳴りがする。
- ④ わき水がふえる。
- ⑤ 地面にひび割れや段差がでる

ここにあげたのは前兆現象の一例です。このほかにも「いつもと何か違う、変だ」と感じたら、役場や近所の人に知らせて安全な場所に避難してください。

## 土砂災害警戒区域の看板

近所にこういう看板はないですか？



# 土砂災害防止に関する絵画・作文募集要領

## 1 目的

「土砂災害防止月間（毎年6月）」行事の一環として、県内の小・中学生の皆さんに、土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めていただくために、絵画・作文を募集するものです。

## 2 主催

富山県、富山県治水砂防協会

## 3 対象

絵画の部、作文の部ともに県内の小・中学校生徒

## 4 課題

### (1) 絵画の部（絵画・版画・貼絵・ポスターなど）

- ① 題材は、土砂災害及びその防止対策に関するもの。  
例えば、
  - ・土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害の体験やようす。
  - ・土砂災害の恐ろしさを訴えるもの。
  - ・砂防えん堤・がけ崩れ防止施設などの土砂災害防止施設及びそれらを造っているようす。
  - ・土砂災害防止施設が役立っていることが理解できるもの。
  - ・防災訓練（土砂災害）、避難などの体験やようす。 など
- ② 用紙のサイズ、表現方法（絵の具、パス、版形式など）は自由とする。
- ③ 作品の裏面に画題、応募者の学校名、学年、氏名（ふりがな）を明記すること。

### (2) 作文の部

- ① 題材は、土砂災害及びその防止対策に関するもの。  
例えば、
  - ・自分が体験した土砂災害について思ったこと。
  - ・砂防えん堤などの土砂災害を防止する施設を見学して思ったこと。
  - ・防災訓練（土砂災害）などに参加して思ったこと。
  - ・学校の勉強や日常の生活を通して、土砂災害の防止について思ったこと。
  - ・テレビやラジオで土砂災害のニュースを見て思ったこと。  
おじいさんやおばあさんなど年上の方から土砂災害の話を聞いて思ったこと。
  - ・土砂災害から自分や家族の身を守ること（自助）、地域の人たちと助け合うこと（共助）の大切さについて思ったこと。 など
- ② 400字詰め原稿用紙で、
  - ・小学校低学年（1～3年生）は2枚～3枚（800～1,200字）程度
  - ・小学校高学年（4～6年生）は3枚～4枚（1,200～1,600字）程度
  - ・中学生は4枚～5枚（1,600～2,000字）程度
- ③ 作文冒頭に、表題、応募者の学校名、学年、氏名（ふりがな）を明記すること。

## 5 募集期間

令和6年6月1日（土）から令和6年9月15日（日）まで（9月17日（火）まで到着）

## 6 作品送付先、問い合わせ先

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7  
富山県土木部砂防課 あて  
TEL 076-444-3341

## 7 入選区分

各部門（小学生絵画、小学生作文、中学生絵画、中学生作文）共通

富山県土木部長賞 1点

富山県治水砂防協会会長賞 1点

## 8 入選作品の決定

応募作品の中から、主催者の審査により入選作品を決定します。

## 9 入選作品の発表

令和7年2月中旬（予定）

## 10 入選作品の通知

入選者に対しては、所属する小・中学校を通じて通知します。

## 11 表彰

令和7年2月下旬（予定）

## 12 中央審査会（全国）への出品

応募作品の中から優秀作品を各部門各1～2点ずつ出品します。

## 13 中央審査会（全国）の入選区分（各部門共通）

最優秀賞 1点

優秀賞 15点以内

## 14 その他

- (1) 応募作品は、未発表のオリジナルのものに限ります。
- (2) 応募作品の使用・著作権は、国土交通省・富山県に帰属します。
- (3) 入選作品は、土砂災害防止に関する広報活動に利用する場合があります。
- (4) 応募者に関する個人情報、応募作品の審査に関する確認、審査結果連絡、審査結果発表の目的以外には使用しません。
- (5) 応募作品については、原則として返還いたしません。

# 応募票

土砂災害防止に関する絵画

作品名	
学校名	
学年	
ふりがな	
氏名	

※この応募票を作品の裏に貼って下さい。(用紙不足の場合は、コピーしてください。)

# 応募票

土砂災害防止に関する絵画

作品名	
学校名	
学年	
ふりがな	
氏名	

※この応募票を作品の裏に貼って下さい。(用紙不足の場合は、コピーしてください。)

